

2021年3月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社 高松コンストラクショングループ 証券コード：1762

2020年8月6日

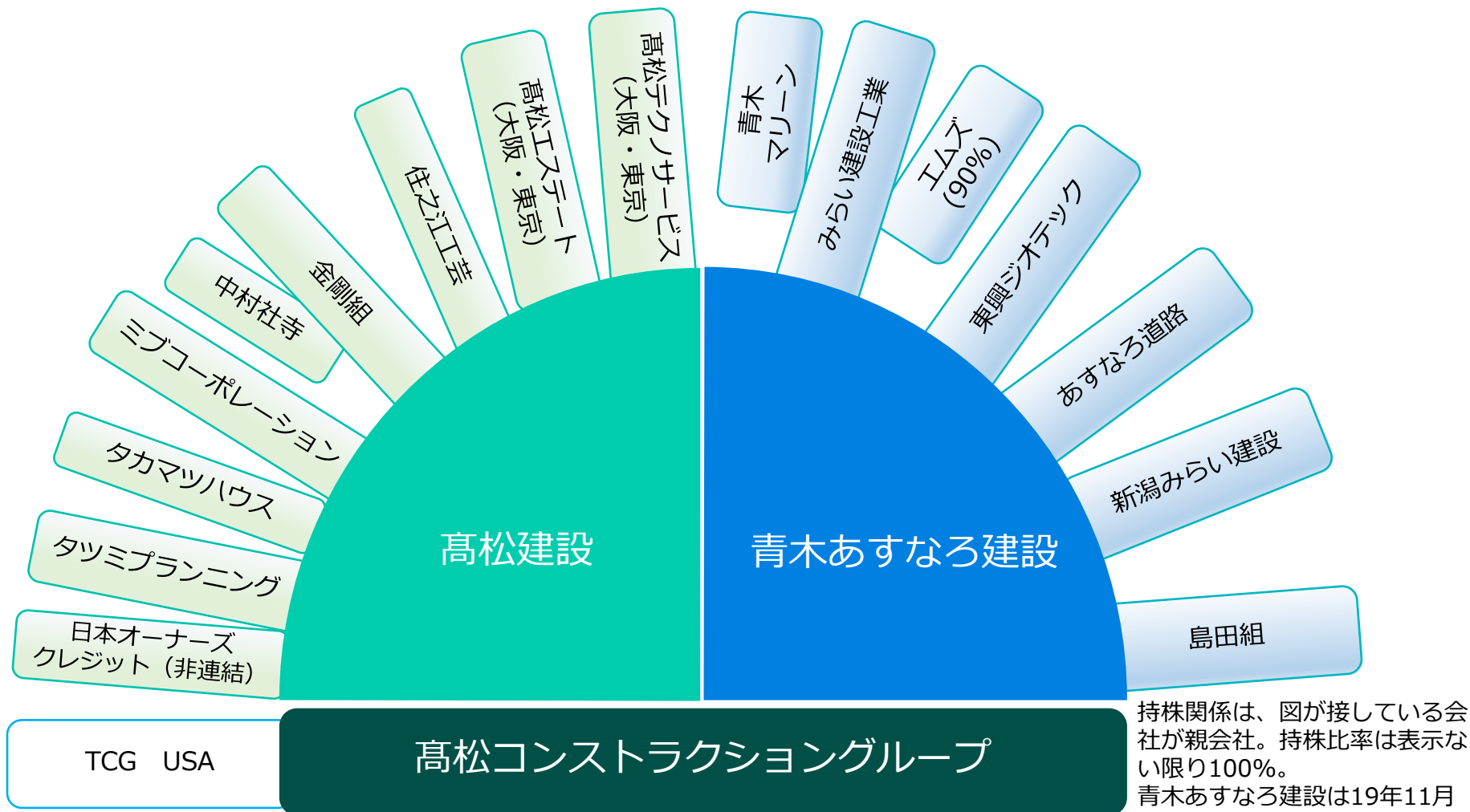
目次

1. 2021年3月期 第1四半期決算	2
2. 2021年3月期 見通し	15
3. 参考指標	17
4. トピックス	20

2021年3月期 第1四半期決算

グループフォーメーション

◆ 純粋持株会社の高松コンストラクシヨングループ、高松建設他10社、青木あすなる建設他7社、海外子会社のTCG USA, Inc.の21社で連結ベース構成。



企業集団の状況

	土木	建築	不動産	主要営業エリア
高松建設グループ		高松建設		東京・名古屋・大阪
		高松テクノサービス 大阪		大阪
		高松テクノサービス 東京		東京
			高松エステート 大阪	大阪
			高松エステート 東京	東京
		住之江工芸		国内（全国）
		タカマツハウス		東京・神奈川
		タツミプランニング		東京・神奈川
			ミブコーポレーション	東京
		金剛組		東京・大阪
		中村社寺		名古屋
青木あすなろ建設グループ	青木あすなろ建設			国内（全国）
	みらい建設工業			国内（全国）
	東興ジオテック			国内（全国）
	青木マリーン			国内（全国）
	あすなろ道路			北海道
		エムズ		首都圏
	新潟みらい建設			新潟
	島田組			国内（全国）
		TCG USA	米国	
高松コンストラクショングループ（純粋持株会社）				

2021年3月期 1Q業績推移（連結）

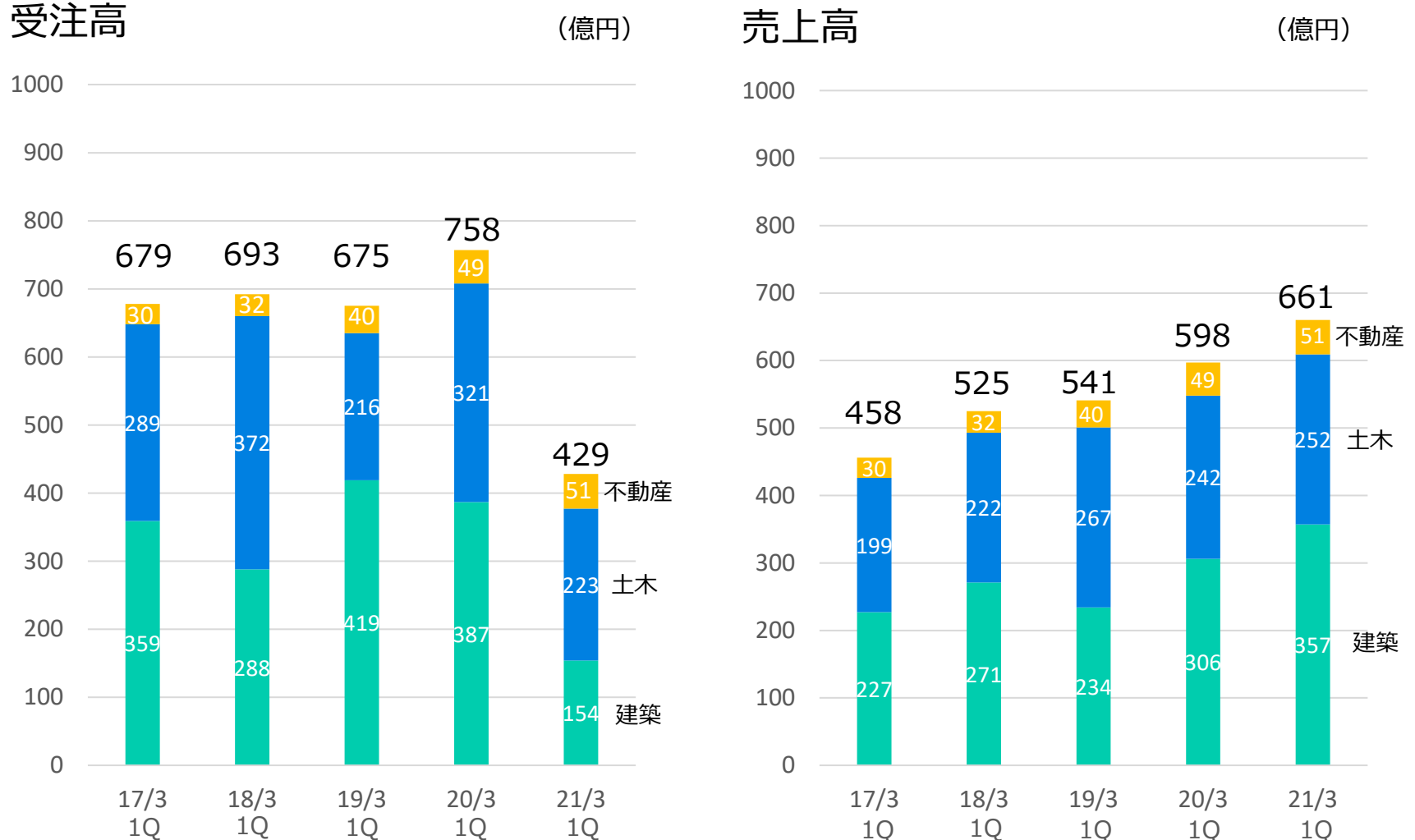
◆受注高は新型コロナウイルス感染症の影響で、個人顧客へのアクセスができなかったことと発注の後ろ倒しにより前期比43.3%減。売上高は手持ち工事が順調に推移したことで前期比10.6%増

単位:億円

項目	2020/3期 1Q		2021/3期 1Q	増減率
受注高	758	↓	429	△43.3%
売上高	598	↑	661	10.6%
売上総利益	74	↑	78	6.1%
売上総利益率	12.4%	↓	11.9%	△0.5pt
営業利益	13	↑	14	6.4%
営業利益率	2.2%	↓	2.1%	△0.1pt
経常利益	13	↑	13	2.7%
経常利益率	2.3%	↓	2.1%	△0.2pt
親会社株主帰属四半期純利益	4	↑	6	44.5%
四半期純利益率	0.7%	↑	0.9%	0.2pt

セグメント別 受注高・売上高（連結）

◆ 建築は官庁工事の受注はあったものの、新型コロナウイルス感染症の影響で個人顧客へのアクセスができずに不振。土木は一部発注の後ろ倒しがあった。売上高は手持ち工事の消化が順調に進んだことにより前期比で増収。



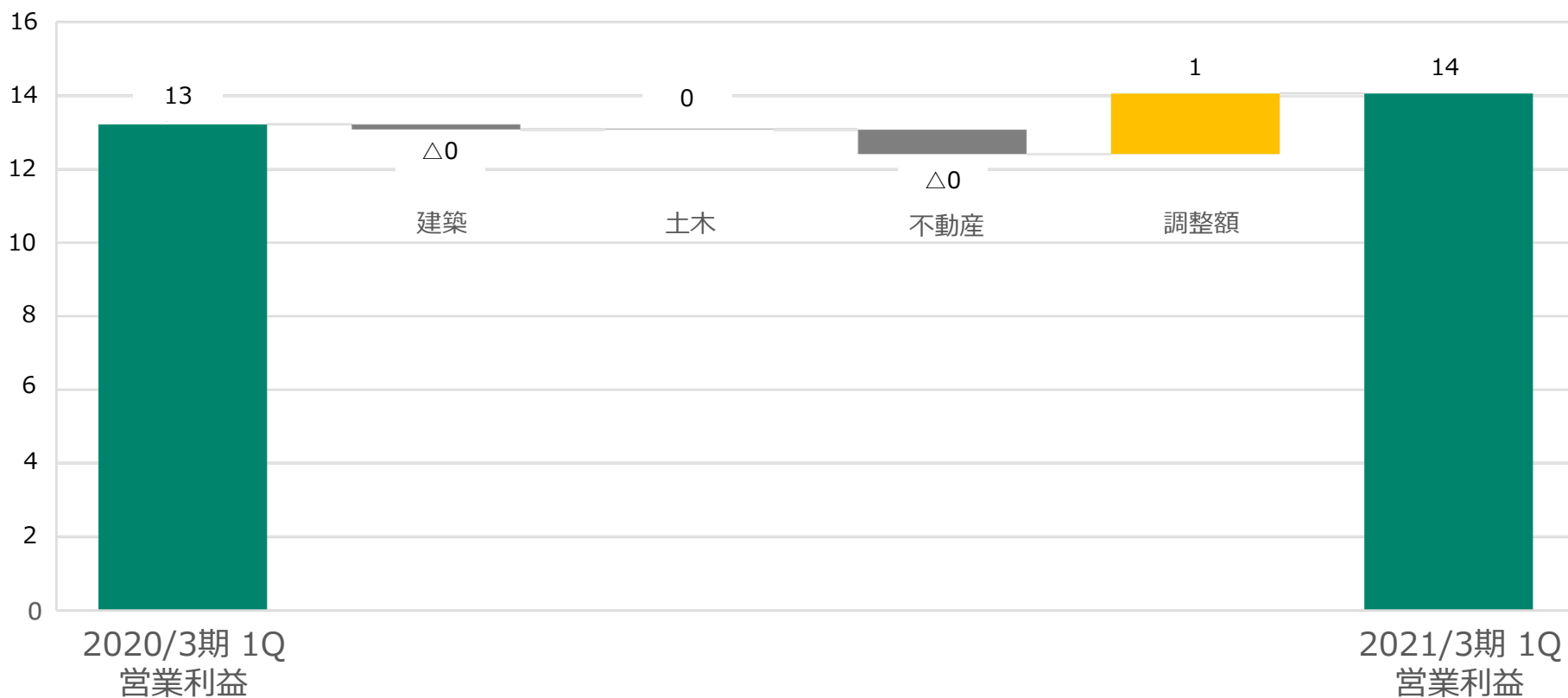
営業利益増減分析（セグメント別）

◆手持ち工事が順調に推移したことにより、売上総利益も積み上げることができたため、営業利益は前期並みを確保。

営業利益

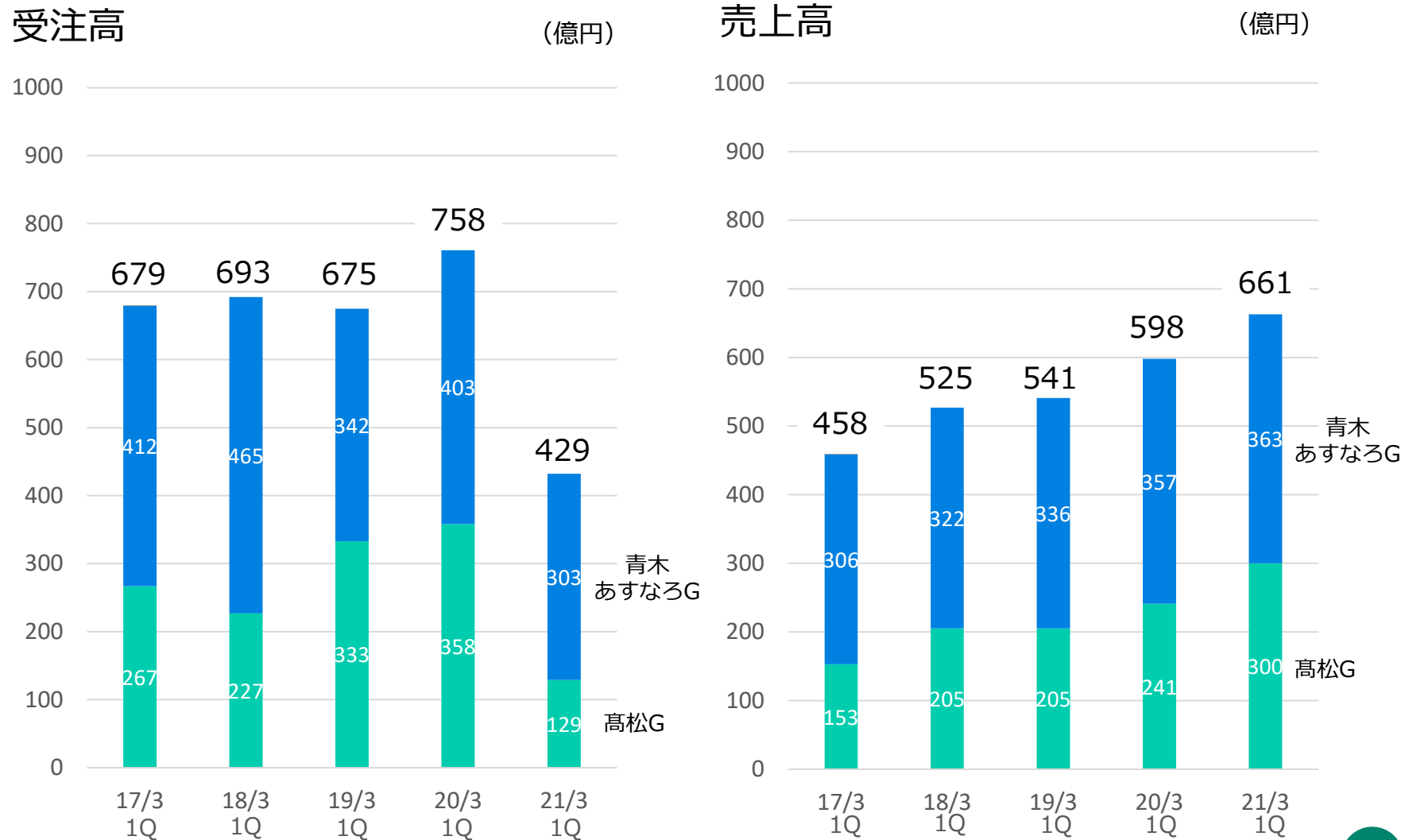
■ 増加 ■ 減少 ■ 合計

(億円)



グループ別 受注高・売上高（連結）

◆青木あすなろグループの受注高は前期大型工事受注の反動減、高松建設グループは個人顧客へのアクセスができなかったため受注が低調。売上高と利益は順調に推移。

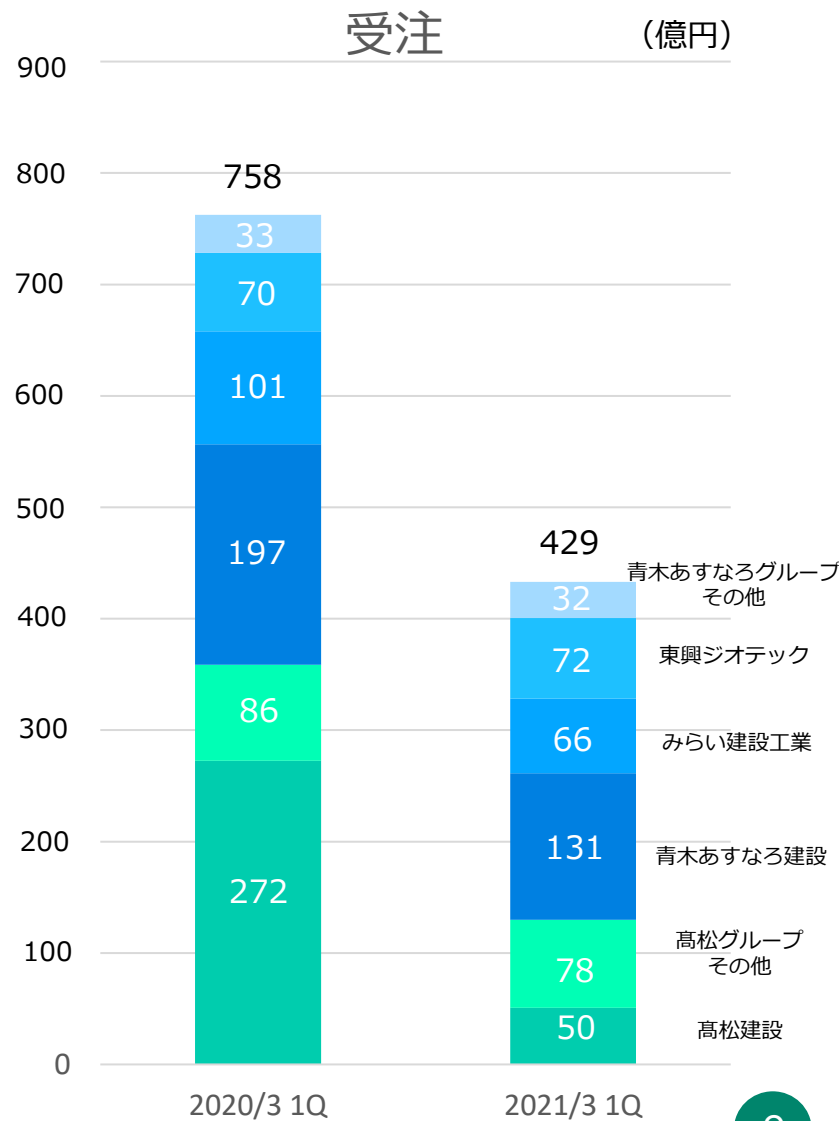


主要4社別 受注高

◆高松建設は個人顧客へのアクセスができなかったため受注が低調。青木あすなる建設とみらい建設工業は、前期1Qは大型工事の受注があったためその反動減。

(百万円)

企業名	2020/3期 1Q	2021/3期 1Q	増減率
高松建設	27,260	5,096	△81.3%
高松グループ その他	8,601	7,886	△8.3%
高松G 合計	35,861	12,982	△63.8%
青木あすなる建設	19,789	13,156	△33.5%
みらい建設工業	10,146	6,691	△34.1%
東興ジオテック	7,046	7,246	+2.8%
青木あすなるグループ その他	3,395	3,225	△5.0%
青木あすなるG 合計	40,376	30,318	△24.9%
TCG連結	75,822	42,995	△43.3%

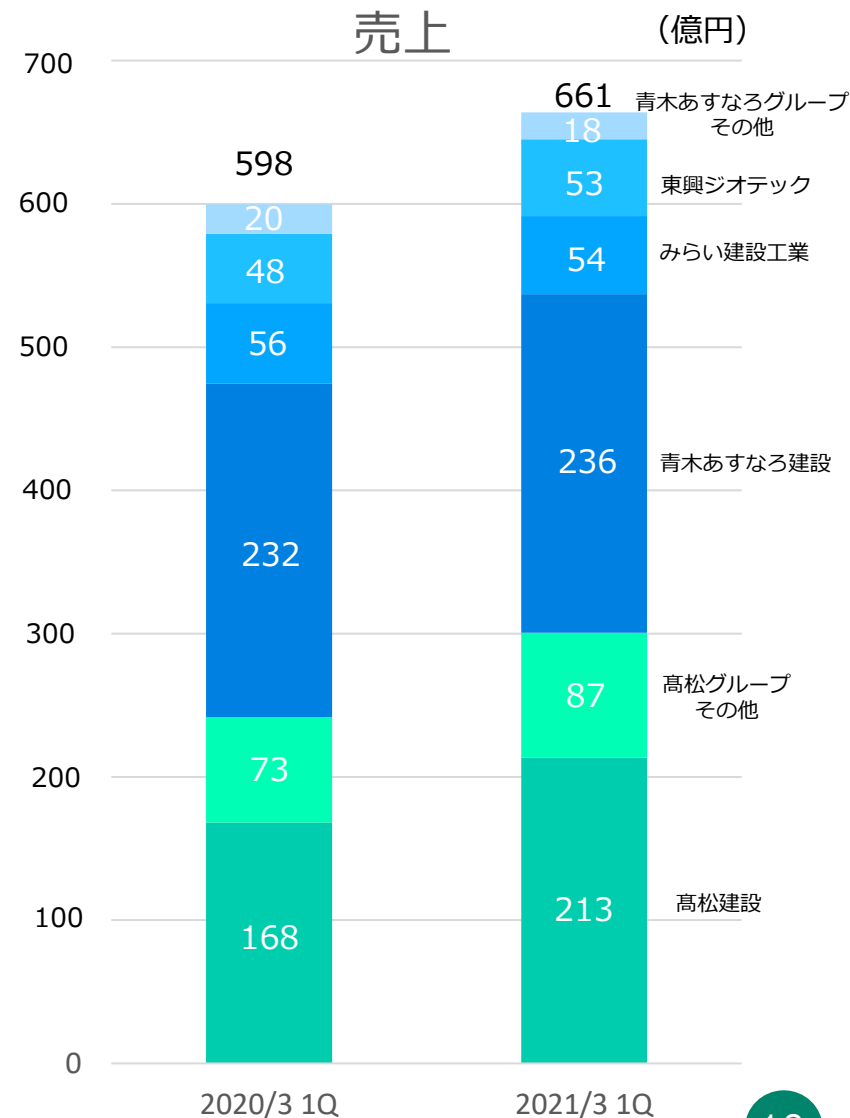


主要4社別 売上高

◆手持ち工事が概ね順調に推移したことにより、売上高は前期比10.6%増

(百万円)

企業名	2020/3期 1Q	2021/3期 1Q	増減率
高松建設	16,822	21,352	+26.9%
高松グループ その他	7,357	8,706	+18.3%
高松G 合計	24,179	30,058	+24.3%
青木あすなる建設	23,265	23,638	+1.6%
みらい建設工業	5,622	5,447	△3.1%
東興ジオテック	4,844	5,365	+10.8%
青木あすなるグループ その他	2,066	1,879	△9.1%
青木あすなるG 合計	35,797	36,329	+1.5%
TCG連結	59,810	66,123	+10.6%

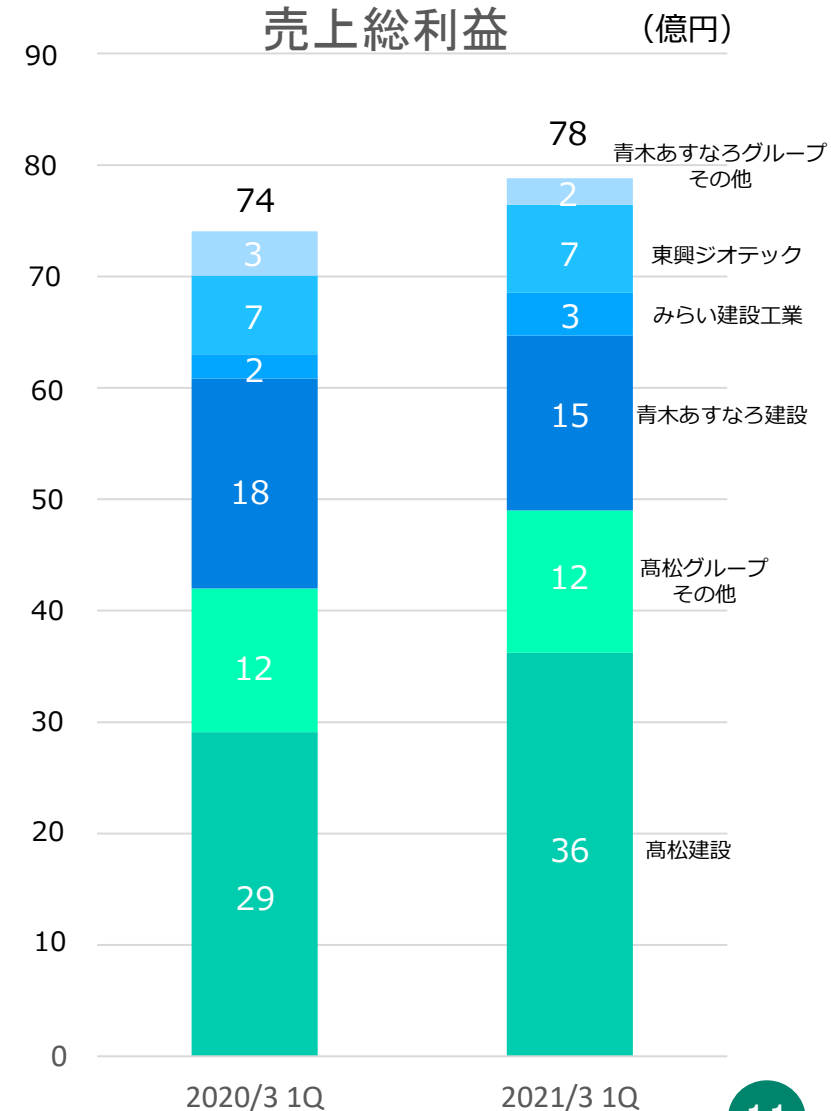


主要4社別 売上総利益

◆ 手持ち工事の順調な推移に伴い売上総利益も増加したものの、好採算工事が減った会社で一部減益。

(百万円)

企業名	2020/3期 1Q	2021/3期 1Q	増減率
高松建設	2,909	3,622	+24.5%
高松グループ その他	1,290	1,278	△0.9%
高松G 合計	4,199	4,900	+16.7%
青木あすなる建設	1,884	1,569	△16.7%
みらい建設工業	219	384	+75.3%
東興ジオテック	705	791	+12.2%
青木あすなるグループ その他	398	238	△40.2%
青木あすなるG 合計	3,206	2,982	△7.0%
TCG連結	7,426	7,881	6.1%

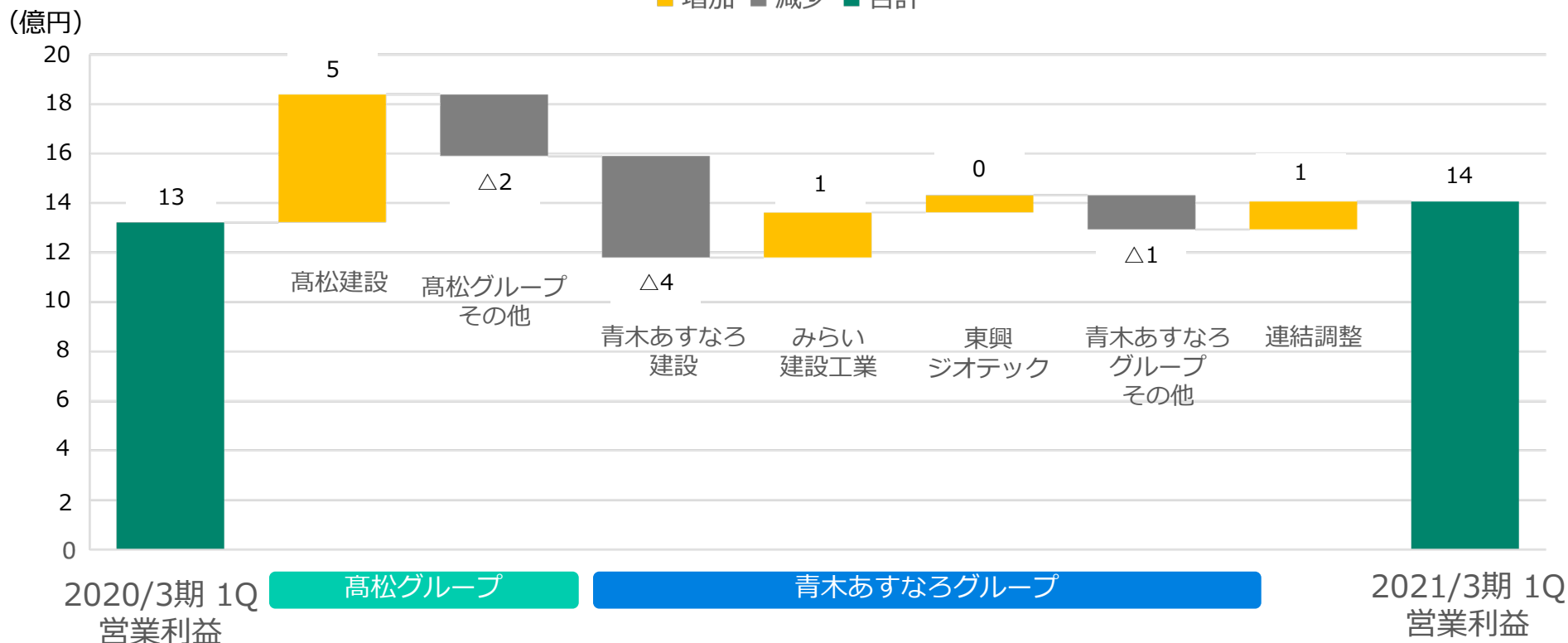


営業利益増減分析（主要4社別）

◆高松建設は手持ち工事の順調な推移により増。青木あすなろ建設は好採算工事の減少に伴い営業利益減。

営業利益

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



営業利益増減分析（売上総利益・販管費別）

◆ 高松建設は手持ち工事の順調な推移に伴い粗利益も増加。青木あすなる建設は好採算工事の減少により売上総利益が減少。人員の増加等により高松グループの販管費増。

営業利益

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



新型コロナウイルス感染症の各セグメントへの影響

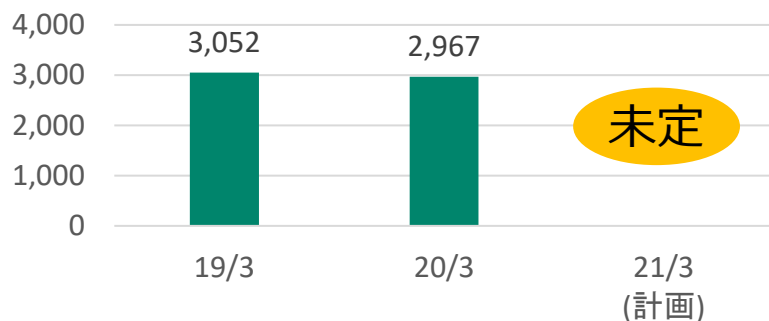
	セグメント	影響
建設	官庁営業活動	一部で新型コロナウイルス感染症対応に伴う発注遅延はあるが、概ね従来の営業活動に復帰。
	民間営業活動	法人顧客は発注の後ろ倒しはあるが以前に戻りつつある。個人顧客はWEBや電話での営業活動が中心。
	官庁工事	工事の一部中止はあったが影響は軽微。感染拡大防止措置を講じた上で工事を施工中。
	民間工事	感染拡大防止措置を講じた上で工事を施工中。
不動産	入居斡旋	概ね従来の営業活動に戻っている。
	建物管理	概ね従来の営業活動に戻っている。
採用	新卒採用	WEB会社説明会やWEB面接を実施。
その他	M&A	概ね従来の状況に戻っている。

2021年3月期 見通し

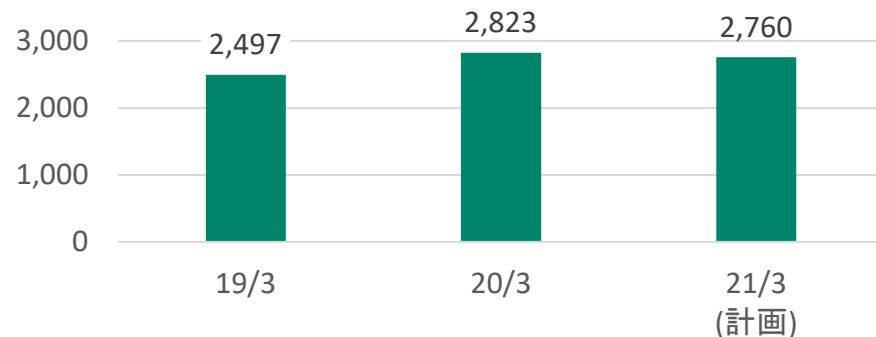
2021年3月期 見通し

◆2020年5月27日発表数値から変更なし。

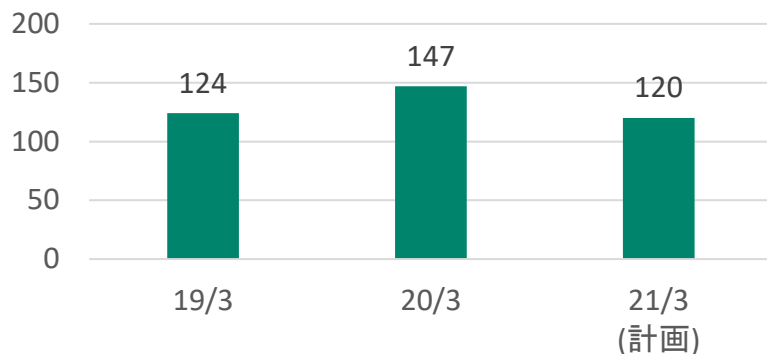
受注高 (億円)



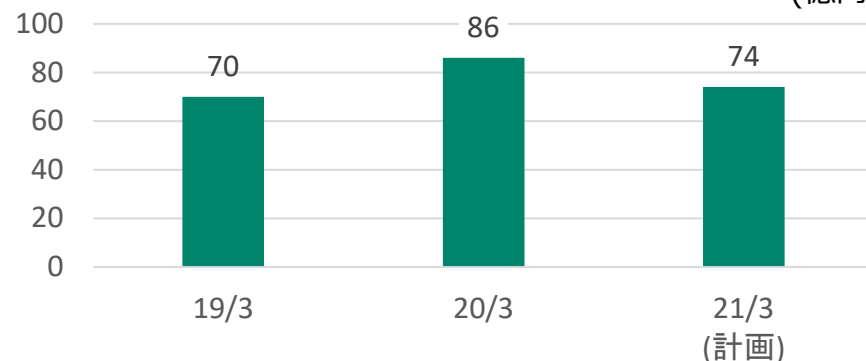
売上高 (億円)



営業利益 (億円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (億円)



今期の連結業績の見通しについては、新型コロナウイルス感染症の影響で、現段階では受注見通しの合理的な算出が困難であり未定。

売上高および利益については、新型コロナウイルス感染症の影響で、前期と比べて売上高は2.3%のマイナス、営業利益は18.5%のマイナスを見込む。

参考指標

高松建設 マンション・非マンション別受注高

◆新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言等の影響により、高松建設の主力顧客である個人顧客への訪問営業を自粛していたこと、法人顧客についても在宅勤務等により発注時期の後ろ倒しが発生するなどの特殊要因もあり、あくまで参考数値ではあるものの、大阪本店は非マンション建築が主力であり、東京本店は賃貸マンション建築が主力である傾向に変化はでていない。

マンション・非マンション別 割合 前年比較

(%)

マンション・非マンション別 受注高

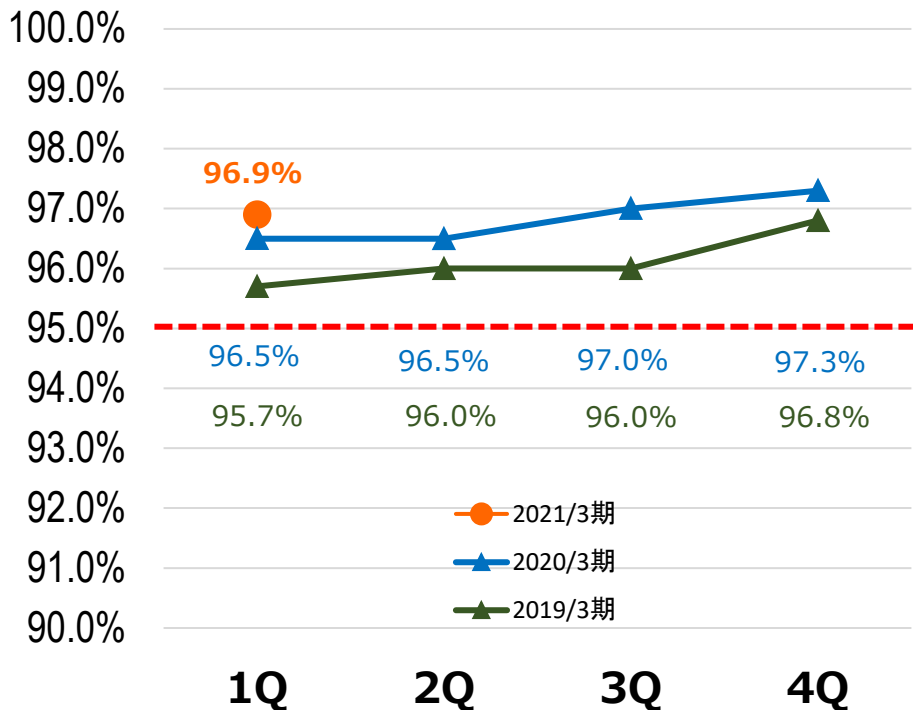
(百万円)

	大阪		東京			大阪	東京
	2020/3 1Q	2021/3 1Q	2020/3 1Q	2021/3 1Q		2021/3 1Q	2021/3 1Q
マンション	19.6%	5.5%	64.8%	68.5%	マンション	177	1,289
非マンション	80.4%	94.5%	35.2%	31.5%	非マンション	3,038	592
合計	100%	100%	100%	100%	合計	3,215	1,881

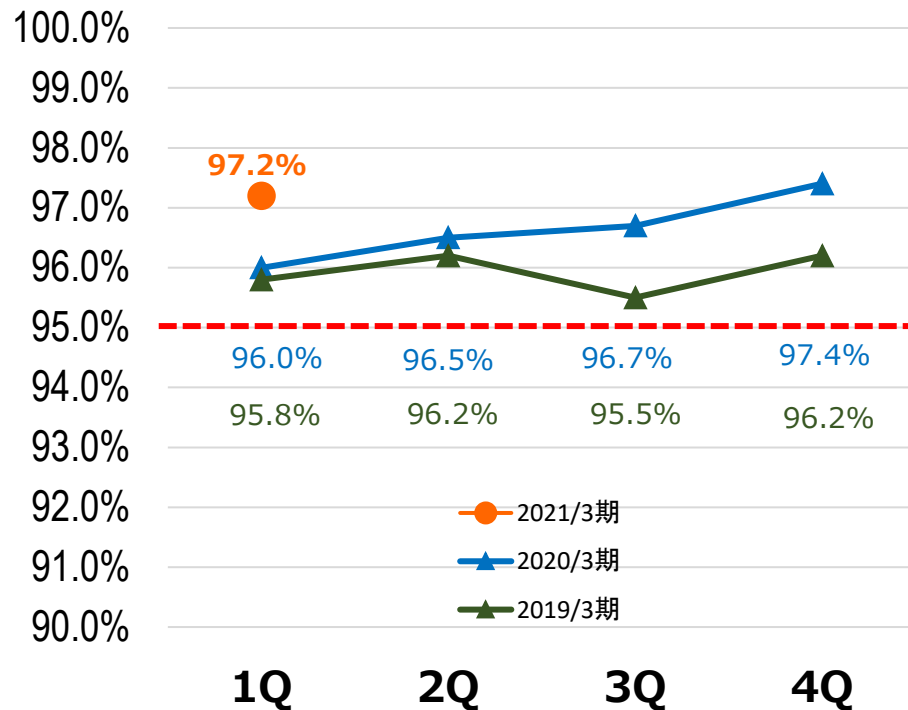
高松エステートにおける高松建設施工物件の入居率

◆東京・大阪ともに、入居率は21/3期 1Qも95%以上を維持。

大阪・名古屋



東京



定義：

「大阪・名古屋」＝大阪府、京都府、兵庫県、名古屋市

「東京」＝東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県

「入居率」＝各四半期末時点の高松エステート（大阪・東京）が管理している高松建設施工物件の入居戸数
 ÷ 各四半期末時点の高松エステート（大阪、東京）が管理している高松建設施工物件の総戸数

トピックス

木造戸建住宅事業およびTCG USA

◆木造戸建住宅事業

「ベタークオリティ・バリュープライス」をコンセプトとして、木造戸建分譲ブランド「ミラクラス」を立ち上げ。

東京の城南・城西・城北、横浜エリアを中心に展開予定。

「資産価値が下がらない分譲住宅」の提供を念頭に、3年後に棟数180棟・売上高100億円、10年後に売上高500億円を目指す。



MIRAKURAS

タカマツハウスの分譲地「ミラクラス」

◆TCG USA

2018年6月に5階建て木造住宅「224.E59th」を、2018年8月に「413.E50th」をニューヨークマンハッタンに取得。

1棟目の「224.E59th」は、賃貸物件として運用しており、2棟目の「413.E50th」はフルリノベーション工事を行った後、売却予定。

3棟目の投資として、カリフォルニア州の4階建て192室のアパート開発案件に、現地のディベロッパーと共同で出資し、開発を行うことが確定。

新型コロナウイルス感染症の影響により、着工時期が後ろ倒しになる見込み。



TCG USA 3棟目の投資案件
Blu Laguna Niguel Phase II
イメージ図

TCG 高松コンストラクショングループ

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料作成日現在で入手可能な情報にもとづいて作成したものであり、実際の実績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。また、当資料は投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。